

- エネルギー価格高騰、自動車業界のEV化による影響等、熱処理業界を取り巻く厳しい経営環境の中、競争の激しい少量単品から量産品加工へシフト。自動車以外にも、エネルギー関連、半導体関連など受注分野の分散化を通じて、安定的な利益確保を図る。
- 長年の真空熱処理加工で培われた技能人材による顧客ニーズに応じたオーダーメイドによる熱処理加工に強み。加えて、異なる熱処理技術を有する同業他社と連携により最適加工方法の提案、自社技能を活かした炉メンテナンス事業、熱処理技術講習など実施。「世界一綺麗な熱処理工場」を掲げ、職場環境改善、業界イメージの一新に尽力。
- 子会社AMNを立ち上げ、自社NWを活かしながら、デザイナーと地域中小ものづくり企業をマッチング、新商品開発、販路開拓等の伴走型支援ビジネスモデルを新たに展開。

<会社紹介>

本社外観（安城市）



展望式工場見学ルーム（本社）



真空熱処理炉（能登工場）



商品開発支援プロジェクト (AICHI DESIGN VISION)



<具体的な取組>

- 中小企業経営強化税制の活用により、真空熱処理炉を設備投資。令和3年操業の北陸能登工場において、今後、事業再構築補助金を活用することで、更なる設備投資を行い、新規顧客開拓に繋げる。
- 長年の真空熱処理加工を通じた技能人材のノウハウを活かして、他社との差別化に繋げるとともに、社内教育・技術提案力向上を徹底、メンテナンス事業や熱処理技術講習など事業分野の多角化実現。
- 子会社AMNを通じて、デザイナーと地域中小ものづくり企業の新商品開発プロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングを通じた販路開拓支援により、多数の商品化を実現。今後、自社NWを活かしつつ、当地域だけでなく全国的な展開も視野。